

テコンドー日本代表
福祉大岡崎さん
世界大会へ決意

仙台市長を訪問

東北福祉大3年の岡崎陽向さん(20)は仙台市出身で、ドイツで17、23日に開かれる大学生の世界大会「ワールドユニバーシテ

イゲームズ」のテコンドー競技で日本代表として出場する。2日に市役所を訪れ、郡和子市長に決意を語った。

岡崎さんは「テコンドーのみならず、さまざまな競技が集う大会。日本を背負う覚悟で臨む」と宣言。従来の46キ級ではなく、五輪出場を見据えて49キ級に挑

む。「徐々に体格差を感じなくなってきた。自信を持って試合に出たい」と力を込めた。

同競技の元日本代表で、岡崎さんを指導する県テコンドー協会の相原儀雅会長は「身長162センチと小柄だが、真面目な性格で補っている。力を発揮できるよう支えていく」と語った。



大会への決意を語る岡崎さん(右)と相原会長